

BluetoothオーディオレシーバーA 取扱説明書

Vol.2

ブラック R02E006K
ホワイト R02E006W
ピンク R02E006P

発売元 KDDI株式会社
沖縄セルラー電話株式会社
製造元 ロジテック株式会社

※この取扱説明書では、特に断りの無い限りは製品名を代表して「BT-AR120」と表記しています。

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書はBluetoothオーディオレシーバーの使用方法や、安全に取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。本書の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。また、本書をいつでも読むことができる場所に大切に保管しておいてください。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには以下の物が含まれています。お使いになる前にパッケージの内容を確認してください。

- オーディオレシーバー本体 1台
- ステレオイヤホン 1台
- イヤーピース S/M/L(Mは本体装着) 各1組
- USB充電ケーブル(約60cm) 1本
- 取扱説明書(保証書付)(本書) 本書
- 簡単接続ガイド 1部

重要なご注意

! 付属のUSB充電ケーブルは本製品専用です。本製品の充電以外に利用しないでください。
コネクタ形状が同じでも、ピンアサインが異なることがあります。故障の原因となります。
同様に、他の製品に付属の充電ケーブルで本製品を充電しないでください。

基本仕様

製品型番	R02E006K/R02E006W/R02E006P
Bluetooth 仕様	Bluetooth Ver. 2.1+EDR
キャリア周波数	2.4GHz帯
周波数搬送方式	FHSS (周波数ホッピング方式スペクトラム拡散)
伝送距離	最大半径約 10m (障害物がない場合) class 2 ※1
対応プロファイル	HFP/HSP(ハンズフリー通話機能)/AVRCP(リモコン機能) /A2DP(音楽機能)
記憶可能なペアリング機器台数	8 台
連続待受時間	約 200 時間 ※2
連続通話時間	最大約 6 時間 ※2
環境条件	動作時温度／湿度 温度 5 °C ~ 35 °C / 湿度 20% ~ 80% (ただし結露なきこと)
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	21.0×13.0×55.0mm(突起部を除く)
質量	約 13g
保証期間	1 年間

*1 距離は、通信するBluetooth機器の性能やそれぞれのバッテリー残量、周囲の環境に依存します。
*2 通信するBluetooth機器との距離が長い場合など、消費電力が増加するために待ち受け/通話/再生時間が短くなる場合があります。

- 2.4GHz帯を使用する無線LAN(IEEE802.11g/b/n)との併用は、電波干渉の発生により利用できない場合があります。
- 本製品に対して、すべてのBluetooth機器の動作を保証するものではありません。

iPhoneはApple Inc.の商標です。
Appleは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
BluetoothおよびBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG Inc.の商標です。
そのほか、この取扱説明書に記載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略しています。

取り扱い上の注意

■正しくお使いいただくために

本製品を正しくお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

図記号の説明



警告

ここに記載された事項を無視すると、使用者が死亡または障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

●車の運転中には使用しないでください

車の運転中にはイヤホンを使用しないでください。また、歩行中でも、駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況をよくご確認ください。

●万一、異常が発生したときは

本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、付属のUSB充電ケーブルをUSB ACアダプタなどのUSB電源から抜いてください。その後は製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

●高温のまま放置しないでください

本製品は精密な電子機器です。高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

●充電が終わったら、必ず充電ケーブルを取り外してください
また、必要な充電時間を終えて充電が完了しない場合も、いったん充電ケーブルを取り外してください

●着信音量の設定には十分気をつけてください
スマートフォン、ケータイと接続して使用しているときに、着信音に驚いて事故の原因となったり、心臓に影響を与える恐れがあります。お使いになる前に音量をご確認ください。

●分解しないでください
本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

●接続に使用するコードを傷つけないでください
火災や断線の原因となります。

●病院内や航空機の中などでは使用しないでください
高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機関や航空機の計器類などの誤動作の原因になります。

●電子レンジなどの加熱調理機や高圧容器に入れないでください
発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

●火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
発火・破裂・火災の原因となります。

●着信音が聞こえない
ヘッドセットからはスマートフォン、ケータイで設定した着信音は聞こえません。また、スマートフォン、ケータイの機種によってはBluetooth設定の「ハンズフリー着信鳴動」を鳴らすように設定(「接続相手も鳴動」などに設定)する必要があります。

●着信時にマルチファンクションボタンを押しても通話できない
一部のスマートフォン、ケータイでは、着信時に本製品のマルチファンクションボタンを数回押さないと通話を開始できない場合があります。マルチファンクションボタンを1回だけ押しても通話できないときは、数回押してみてください。

●着信前に留守番転送されてしまう
着信から留守番電話サービスに転送するまでの時間が短く設定されていると、本製品に音声が転送される前に留守番転送されてしまいます。このような場合は、留守番電話サービスへの転送時間を長めに設定してください。

●スマートフォン、ケータイで通話の音声が聞こえない
一部のスマートフォン、ケータイでは、通話中に約20秒以上の無音状態が続いた場合に、自動的に省電力モードになり、イヤホンジャックの音声入出力がオフになります。そのため、通話中でも音声が聞こえなくなることがあります。このような場合は、本製品のマルチファンクションボタンを押して、スマートフォン、ケータイの省電力モードを解除してください。

●通話相手に自分の声が聞こえない
一部のスマートフォン、ケータイでは、ヘッドホンのマイク入力が有効になるように手動で設定する必要がある機種があります。マイク入力が無効になっていると、レシーバーのマイクからの音声が通話相手に聞こえません。また、マイクが遠く音声を拾いにくいくらい場合は、レシーバーのマイクを口元に近づけてご使用ください。

●発信時に通話ができない
スマートフォン、ケータイなどから発信した場合、スピーカー/マイクの設定を本体からBluetoothレシーバーに切り替える操作が必要になります。操作方法はスマートフォン、ケータイなど接続する機器の取扱説明書を参照ください。

●充電中は、本製品およびUSB充電ケーブルの周りに物を置かないでください
本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。

●乳幼児の手の届くところに保管しないでください
イヤホンやケーブルを巻きつけたり、誤飲するなど事故や傷害の原因となります。

●本体は精密な電子機器のため衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などの使用・保管は避けてください

●車載機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください
ご使用の車により、まれに車載機器との間で電波干渉が起こる場合があります。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。

●充電中は、本製品およびUSB充電ケーブルの周りに物を置かないでください
本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。

●ご使用の際は、接続機器の取扱説明書の指示に従ってください
本製品は、スマートフォン、ケータイなどと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

●日本国外では使用しないでください
この装置は日本国内専用です。国外では独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせにても一切応じかねますのでご注意ください。

●取り扱い上のお願い

・本製品に無理な力がかかるないように使用してください。破損、故障の原因となります。

・静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。

・本製品が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。

・水の多い場所での使用/保管はしないでください。本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。

・皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を止め、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体质・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

<素材表示>

【本体】 ケース、クリップ、ボタン:ABS+PC LEDレンズ:PMMA クリップ軸、バネ:スチール

【イヤホン】ケーブル:PVC ケース:ABS イヤーピース:シリコン 加飾:ABS、アルミニウム

【充電ケーブル】 ケーブル:PVC コネクタ:エラストマースチール

・製品の仕様、デザイン、および本書の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。

●電波に関する注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

●この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

●万一本の機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、弊社テクニカルサポートにてご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えは、パーティションの設置など)についてご相談ください。

●その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社テクニカルサポートまでお問合せください。

●車の運転中には使用しないでください

車の運転中にはイヤホンを使用しないでください。また、歩行中でも、駅のホームや交差点、工事現場などでは本製品の使用を中止し、周囲の状況をよくご確認ください。

●万一本の異常が発生したときは

本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、付属のUSB充電ケーブルをUSB ACアダプタなどのUSB電源から抜いてください。その後は製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。

●高温のまま放置しないでください

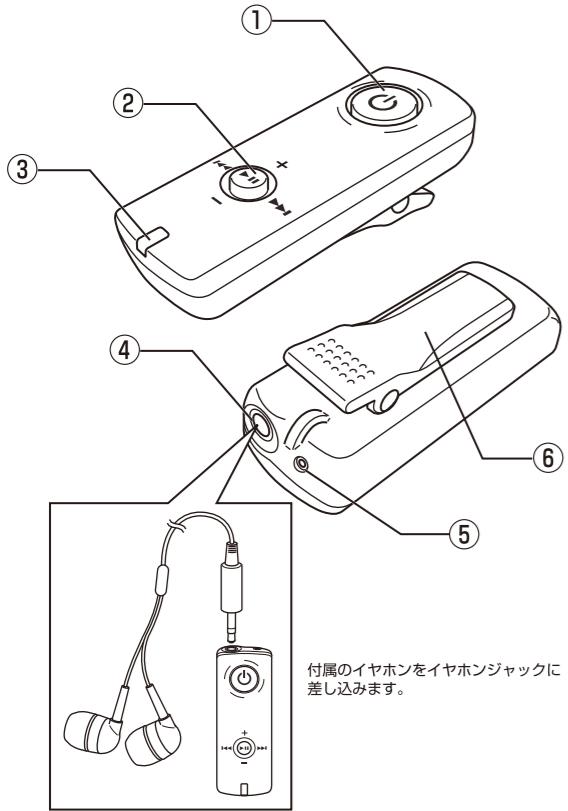
本製品は精密な電子機器です。高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



各部の名称と機能

①マルチファンクションボタン	電源を入れる/切る、ペアリング、受話/終話などに使うボタンです。
②音量調整ボタン 再生/一時停止ボタン	音量を調整するときは、+側に倒します。音量を小さくする時は一側に倒します。 音楽再生中、もしくは一時停止中に➡➡側に倒すと曲送り、➡➡側に倒すと曲戻しになります。 ボタンを押すと、再生中の音楽を一時停止/再生します。 ※AVRCP(リモコン機能)対応と接続の場合は、接続機器の音楽も一時停止/再生になります。非対応機器の場合は、ミュートになるだけで、接続機器の音楽再生は一時停止/再生になります。
③LEDランプ	電源やペアリングの状態を示す赤、青2色のLEDランプです。ランプの表示と本製品の状態については、下記の「マルチファンクションボタンの操作と表示の一覧表」をご参照ください。
④イヤホンジャック	付属のイヤホンを差し込みます。 充電時は、付属の専用USB充電ケーブルのピン側を本体に差し込み、もう一方(USBプラグ)をパソコン又はUSB ACアダプタに接続します。
⑤マイク	ハンズフリー通話機能(HFP/HSP)で接続時に、通話するためのマイクです。
⑥クリップ	襟元や、胸ポケットなどに挟んで固定することのできるクリップです。



本製品の使い方

本製品を充電する

お買い上げ時は、内蔵電池が十分に充電されていません。
必ず充電してからお使いください。
充電には付属の専用USB充電ケーブルとパソコンやUSBACアダプタなどのUSB電源を接続して行います。

充電時間: 約2時間※

- 充電が完了し、LEDが消灯したら充電ケーブルを取り外してください。
安全のために、充電終了後の通電を避けることを推奨します。
また、充電中は本製品を使用しないでください。

1 本製品にUSB充電ケーブルを接続する

付属の専用USB充電ケーブルを本製品のイヤホンジャックに接続します。
※コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。奥までしっかりと差し込んでください。

2 パソコンに充電ケーブルを接続する

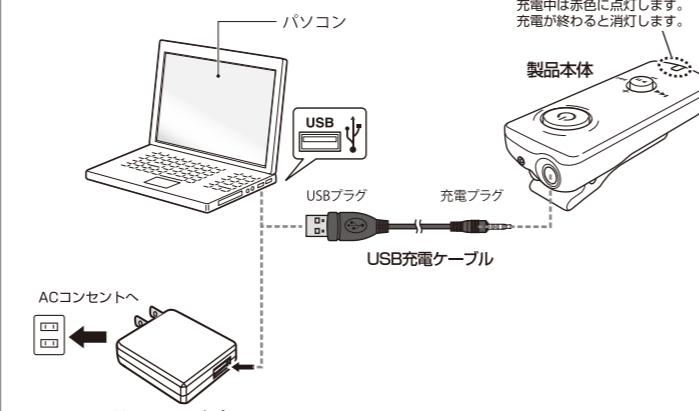
付属のUSB充電ケーブルのUSBプラグを、パソコンのUSBポートのUSB接続端子に接続します。
※コネクタ先端の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。
充電が開始されるとLEDランプは赤色に点灯します。

3 LEDランプが消灯したら充電完了です

4 本製品及びパソコンからUSB充電ケーブルを外します。

充電が終わったら、接続端子からコネクタをまっすぐに引き抜きます。

【充電時の接続図】



※本製品はパソコン以外に共通ACアダプタ03(別売)からも充電することができます。

- プラグの向きに注意して接続します(逆向きには接続できません)。
- パソコンの電源が入っていないと、電力が供給されません。電源を入れてください。

ペアリング(機器への初期登録)の方法

ペアリングのときに必要な情報です

- スマートフォンやケータイなどから検索するときの本製品の名称 LBT-AR120
- 入力を求められた際に必要なパスキー 0000(ゼロ4つ)

※パスキーはBluetooth2.1以降の規格の機器と接続する場合は省略できる場合があります。

本製品をお手持ちのスマートフォンやケータイで使用するためには、お手持ちの機器とペアリング(本製品を機器に初期登録する操作)を行なう必要があります。
ご使用になる接続先機器側の操作については、別紙「簡単接続ガイド」をご覧いただくか、お手持ちのスマートフォンやケータイの取扱説明書をお読みください。

- ペアリング情報は8台まで記憶できます。9台目を登録した場合は、古い情報から順番に削除されます。削除された機器と再接続する場合は、再度ペアリングが必要です。
- ペアリング先の機器の設定状態などの原因でペアリングが完了しない場合は、いったん電源を切ってやり直してください。
- 本製品は「Bluetooth 2.1+EDR」に準拠しています。Bluetooth2.1以降の規格の機器と接続する場合はパスキーの入力を省略できる場合があります。

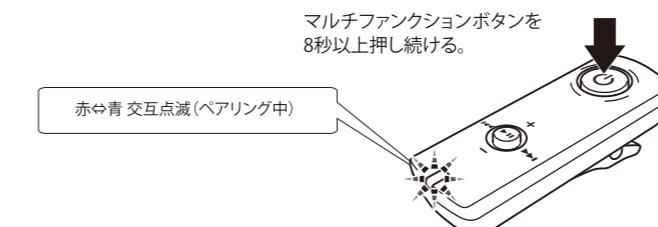
■マルチファンクションボタンの操作と表示の一覧表

機能・状態	操作	LED 表示
電源 ON	電源が OFF の時にマルチファンクションボタンを約4秒長押し	紫、赤と一回点滅
電源 OFF	電源が ON の時にマルチファンクションボタンを約4秒長押し	紫色に点滅
充電中	-	赤色に点灯
充電完了	-	消灯
バッテリー容量不足	-	30秒間隔で赤色 LED が3回点滅
ペアリングモード	電源 OFF の時にマルチファンクションボタンを8秒以上長押し	赤色と青色交互に 点灯
音量調整	音量調整ボタンを+側または-側に倒す	-
一時停止 / ミュート	再生 / 一時停止ボタンを一度押す	-
曲送り / 曲戻し	音量調整ボタンを➡➡側または➡➡側に倒す	-
電話を受ける	マルチファンクションボタンを短く一度押す	-
着信を拒否する	マルチファンクションボタンを2秒以上長押し	赤、紫と点滅後に消灯
電話を切る	マルチファンクションボタンを短く一度押す	-
リダイヤルする	マルチファンクションボタンを2回押す	紫色で一回点滅

※ご使用の機器により、対応していない機能もあります。また、本製品に対する操作が別の機能に割り当てられていることがあります。

1 ヘッドセットをペアリングモードにする

本製品の「電源を切った状態」から、マルチファンクションボタンを8秒以上押し続けます。LEDランプが赤 ⇄ 青交互に点滅し、ペアリングモードになります。



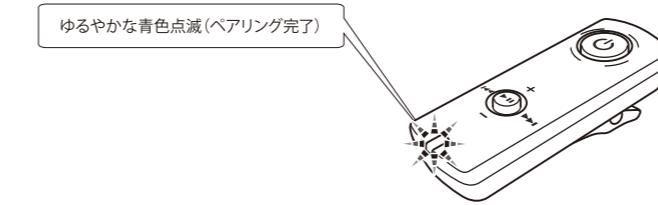
- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切ってからやり直してください。
- すでにペアリング済みの機器が周囲にある場合は、LEDが点滅した時点でボタンから手を離してから操作してください。
- ペアリングしたい機器によっては、あらかじめ機器側で「LBT-AR120からの通信を許可する操作」が必要です。

2 接続先機器からヘッドセットを検索

ペアリングしたい機器(スマートフォンやケータイなど)から、本製品を検索します。
検索方法はご使用の機器によって異なります。接続先機器側の操作については、別紙「簡単接続ガイド」をご覧いただくか、お手持ちの機器の取扱説明書をお読みください。

3 接続先機器にヘッドセットを登録

スマートフォンやケータイなどから本製品が見つかると、デバイス名「LBT-AR120」が検索画面上に表示されますので、選択して登録します。
LEDランプが青色のゆるやかな点滅(5秒に1回の点滅)に変わると、ペアリングの完了です。



- バスキーの入力を促すメッセージが表示された場合は、「0000」(ゼロ4つ)と入力します。
機器によってはBluetooth 2.1 対応機器、バスキーを入力しなくても登録が完了する場合があります。
- 機器によって、ペアリング後に「接続」操作が必要な場合があります。お手持ちの機器の取扱説明書をお読みになり、「接続」操作をしてください。
- 音楽を聴取するために本製品と接続する場合は、音楽機能(A2DP)を含めてペアリング、接続を行ってください。

基本操作

電源を入れる/切る

■電源を入れる

電源がオフの状態から本製品のマルチファンクションボタンを約4秒間長押しすると、電源がオンになります。すでにペアリング済みの機器が近くにある場合、自動的にその機器に接続を試みます。接続が完了すると、LEDは青色のゆるやかな点滅に変わり、機器が使用できるようになります。

ペアリング済みの機器が見つかなければ、LEDランプが赤で点滅します。再接続ができない場合は、再度ペアリングを試みてください。

※スマートフォン、ケータイより「LBT-AR120からの接続を許可する」操作や、接続操作が必要な場合があります。

■電源を切る

電源がオンの状態で本製品のマルチファンクションボタンを約4秒間長押しすると、LEDが赤色に点滅したあと消灯して電源がオフになります。

オートパワーオフ機能について

スマートフォン、ケータイの電源を切るなど、接続中の機器からの送信が途切れた場合や、電源をオフにしたあと、ペアリング相手がない場合、約5分後に電源がオフになります。電源がオフの間は、LEDは青色に点滅します。

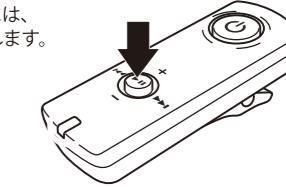
- ペアリング情報は8台まで記憶できます。9台目を登録した場合は、古い情報から順番に削除されます。削除された機器と再接続する場合は、再度ペアリングが必要です。
- ペアリング先の機器の設定状態などの原因でペアリングが完了しない場合は、いったん電源を切ってやり直してください。
- 本製品は「Bluetooth 2.1+EDR」に準拠しています。Bluetooth2.1以降の規格の機器と接続する場合はバスキーの入力を省略できる場合があります。

音楽を聴く

■再生/一時停止

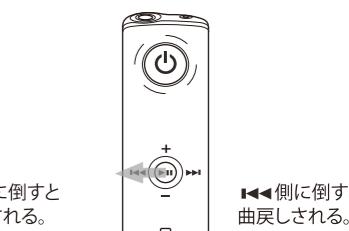
本製品の再生/一時停止ボタンを使用します。
再生中に再生/一時停止ボタンを押すと、再生中の音楽を一時停止します。再度押すと一時停止中の音楽を再生することができます。
※再生/一時停止をするためには、接続する機器がリモコン機能(AVRC)に対応している必要があります。非対応の機器の場合、一時停止ではなく、ミュートになります。

音楽を再生/一時停止するには、再生/一時停止ボタンを押します。



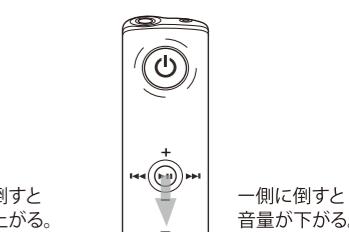
■曲送り(➡➡)/曲戻し(⬅⬅)

本製品の音量調整ボタンを使用します。
音楽再生中、もしくは一時停止中に➡➡側に倒すと曲送り、⬅⬅側に倒すと曲戻しになります。
※接続先の機器によっては機能ない場合があります。



■音量を調整する

本製品の音量調整ボタンを使用します。
+側に倒すと、音量が上がり、-側に倒すと音量が下がります。
本製品の音量を最大にしても希望の音量が得られない場合は、接続した機器の音量を調整してください。



スマートフォン、ケータイなどで通話する

スマートフォン、ケータイの仕様によっては、以下に説明する本製品の操作に対するスマートフォン、ケータイの動作が異なることがあります。

■電話を受ける

ヘッドホンから着信音が聞こえたら、マルチファンクションボタンを1回押します。
※スマートフォンやケータイの仕様上、Bluetoothヘッドセットに着信メロディは設定できません。

■電話を切る

通話状態で、マルチファンクションボタンを1回押します。

■発信する

発信する場合は、ご使用のスマートフォン、ケータイ側で発信操作を行い、その後出力先の切り替えを行います。

例: iPhone4Sの場合 音声出力先に本製品(LBT-AR120)を選択します。

※出力の切り替え方法は使用する機器により異なります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照ください。

■リダイヤルする(最後に発信した通話先)

マルチファンクションボタンを「カチカチ」と2回押します。

※着信した相手へのリダイヤルはできません。